

あなたは最期、どこで、どのようにすごしますか？

映画『みとりし』特別試写会

あなたは「看取り士」という存在を知っていますか？

住み慣れた自宅やご本人が希望する場所で、自然で幸せな最期を迎えられるために、納棺前まで寄り添うのが「看取り士」です。岡山県を拠点に活動する一般社団法人日本看取り士会会長の柴田久美子が、27年の看取り活動の集大成と自身の癌の告知を受けて映画化を決意、その思いが結実したのが映画『みとりし』です。



日時

2019年5月26日(日)

(受付12:30~)

13:00~ セレモニー・トークショー

講師：柴田久美子氏(日本看取り士会 会長)

総合プロデューサー

嶋田豪氏(株)アイエス・フィールド代表取締役

14:30~16:40 試写会

場所

群馬県社会福祉総合センター

8階 大ホール

最寄り駅・JR新前橋駅から徒歩3分

入場料

一般 **1,000円**

会員・賛助会員 **無料** ※定員300名

同日開催

日時：2019年5月26日(日)

10:30~

場所：群馬県社会総合センター6階 ロビー

内容：福祉機具展 (株)みずほヘルスケア

コーヒーマシンの無料提供 (株)東洋羽毛

ストーリー

同僚の死を軽んじる上司に嫌気がさして会社を辞め、看取り士として第二の人生を歩んでいる柴久生はとある地方都市の看取りステーションに勤めていた。久生のところへ若干23歳の高村みのりが赴任をする。みのりは久生や地域の診療所の医師たちと連携しながら、様々な死と向き合う。そんなある日、三人の子供を持ちながら若くして余命宣告を受けた母親を看取ることになる。幼い頃に母親を亡くし、過去の記憶と葛藤するみのりに対し久生は「看取り士」としてその母親をどう向き合えばよいか、温かく導こうとする。

サイン会あり



映画原案

『私は、看取り士。』

厚生労働省が在宅医療・介護への方針転換を始めた今、自らの、そして大切な人のQuality of Death(QOD/死の質)を考え、より良い人生、より良い最期を送るための手引書です。

巻末には、医師・鎌田實氏(諏訪中央病院名誉院長)との対談も収録。

佼成出版社より好評発売中!

参加 お申込み	お名前	お電話 番号	一般・会員・賛助会員 (いずれかに○)
	ご住所		

参加申込書にご記入の上、FAXにて下記までお申し込みください。

入場料は、当日受付にて申し受けます。

参加申込書の個人情報については、本試写会に関する業務の範囲内で使用します。

主催・お問合せ／群馬県ホームヘルパー協議会

TEL 080-3342-6111 FAX 027-255-6173